

授業科目名	地域看護学概論	担当教官	梅林奎子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	地域看護の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護の概念、定義 ・地域保健と公衆衛生と総合保健医療 	
2		<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護と公衆衛生看護(レポート課題提出) ・公衆衛生の定義と公衆衛生看護 	
3		<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦助産婦看護婦法規定(保健婦(師)と保健指導) 	
4	地域看護の理念	<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護活動の理念・目的 ・地域看護活動と総合看護及び看護の継続性 ・プライマリーヘルスケアと地域看護活動・公衆衛生看護活動 ヘルスプロモーションと地域看護活動・公衆衛生看護活動 	
5	地域看護の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護の担い手と機能 	
6		<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦活動の実践例(レポートとグループワーク) 	
7		<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護における倫理 	
8			
9	地域看護活動の原則と成立条件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護活動の原則と成立条件 	
	地域看護活動の対象と特性	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のとらえかた ・個人の特性、家族の特性 ・ライフサイクルと地域看護 ・健康レベルと地域看護 	
10	地域看護活動の場の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(保健所、市町村保健センター等) ・事業所 ・学校 ・その他(病院・福祉施設・訪問看護ステーション等) 	
11	地域看護活動の方法・活動形態	<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診、健康教育、健康相談、家庭訪問、ケアシステムづくり、地区組織活動 	
12		<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦(師)活動のあり方 	
13		<ul style="list-style-type: none"> 実践例から保健婦(師)の活動の独自性、専門性役割、資質、姿勢等を考える 	
14		<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦(師)のコーディネーションの機能 ・行政と保健婦(師)の活動 	
15	公衆衛生看護管理	<ul style="list-style-type: none"> ・人事管理・業務管理 ・新しい事業の施策化と機能 	
	国際保健と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力と保健婦(師) 	
16	保健婦活動の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・外国における地域看護の発祥 	
~	(日本・外国)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における保健婦の誕生 	
22		<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦の教育の歴史 ・大正、昭和の保健婦活動 ・敗戦後の保健婦活動 	
23	保健活動の歴史と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・演習：学生が希望のテーマで歴史から保健婦活動(公衆衛生看護)の本質、活動のあり方、今後の展開について考える 	
~	(日本)	<ul style="list-style-type: none"> 希望のテーマ例 母子保健における保健師の歴史 結核における保健師の歴史 保良せきの活動歴史 済生会の巡回看護の歴史 農村の保健師活動 等 	
	テキスト、教材、参考書	保健学講座 地域看護学概論 メチカルフレンド社 国民衛生の動向 厚生統計協会 公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版 地域看護学総論 医学書院 ナイチンゲール著作集 現代社 いまあらためて看護とは 日本看護協会出版会	

授 業 科 目 名	地域看護学概論	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	地域の人々の健康と保健行動の捉え方 1	生活環境の変化と健康問題の捉え方	
2	地域の人々の健康と保健行動の捉え方 1	文化、社会的規範、習慣、人間関係と健康地域住民の予防的保健活動	
3	地域保健法にみる保健婦(師)の活動 1	地域保健法にみる保健婦(師)の活動	
4	地域保健法にみる保健婦(師)の活動 2	地域保健法と保健所を中心とした公衆衛生活動	
5	地域保健法にみる保健婦(師)の活動 3	地域保健法にみる保健婦(師)の活動	
6	地域保健法にみる保健婦(師)の活動 4	"	
7	地域保健法にみる保健婦(師)の活動 5	地域保健法と市町村を中心とした公衆衛生活動	
8	保健計画1	地域保健法にみる保健婦(師)の活動	
9	保健計画2	保健計画の考え方、意義、必要性	
10	保健計画3	法・制度に基づく計画と保健婦(師)の役割(地域保健医療計画、母子保健計画、高齢者保健福祉計画)	
11	保健計画4	保健計画に盛り込む内容と作成過程、計画を実現させるための条件・方法	
12	施策化の考え方1	保健計画の評価	
13	災害時保健指導 1	地域のヘルスニーズに答える方法としての施策化の必要性、施策化のプロセス	
14	災害時保健指導 2	緊急・災害医療におけるマネジメント	
	テキスト、教材、参考書	被災者の生活環境と保健指導	
		保健学講座1 地域看護学概論 メヂカルフレンド社 保健学講座2 地域看護方法論 メヂカルフレンド社 これからの地域保健 中央法規	

授 業 科 目 名	在宅看護概論	担 当 教 官	矢島まさえ
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	在宅看護の理念と目的	在宅看護の理念と目的、在宅ケアに関わる用語の整理	
2	在宅看護に関わる現状	在宅看護に関わる現状	
3	在宅看護技術1	生活環境整備、生活動作に関する基本技術(講義・演習)	
4	” 2	食事、睡眠に関する基本技術(講義・演習)	
5	” 3	清潔、排泄に関する基本技術(講義・演習)	
6	” 4	受療支援・リハビリテーションに関する基本技術(講義・演習)	
7	在宅療養者の地域支援体制 1	在宅ケアに関わる関係機関・関係職種と保健福祉サービス	
8	” 2	在宅ケアマネジメントの理念・目的・方法	
9	” 3	ケアチームのあり方、チーム形成の方法、ケアチームにおける保健婦(師)の役割	
10	” 4	在宅ケアシステムのあり方、在宅ケアシステムの構築に関わる保健婦(師)の役割	
11	” 5	在宅ケアの評価、新たな社会資源や制度の開拓	
12	介護保険制度の概要 1	介護保険制度の内容 1	
13	介護保険制度の概要 2	介護保険制度の内容 2	
14	介護保険制度の概要 3	介護保険制度に関わる看護職の役割	
テキスト、教材、参考書		保健学講座4 成人地域看護活動論 メヂカルフレンド社 保健学講座5 高齢者地域看護活動論 メヂカルフレンド社	

授業科目名	地域看護活動論	担当教官	矢島まさえ
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	健康相談1	健康相談の目的と役割	
2	健康相談2	健康相談の対象	
3	健康相談3	健康相談の技術	
4	健康相談4	"	
5	家庭訪問1	家族の発達課題、家族の持つ保健機能	
6	家庭訪問2	家族関係と健康問題	
7	家庭訪問3	家族の問題把握と診断、家族支援	
8	家庭訪問4	家庭訪問の目的と意義、家庭訪問の対象	
9	家庭訪問5	訪問計画の作成、訪問準備、訪問目的の伝え方(講義・演習)	
10	家庭訪問6	"	
11	家庭訪問7	観察、情報収集、看護援助、家族保健指導(講義・演習)	
12	家庭訪問8	"	
13	家庭訪問9	訪問後の報告・連絡調整、訪問鞆の管理、訪問記録の作成と今後の方針の明確化(講義・演習)	
14	家庭訪問10	"	
15	家庭訪問実習オリエンテーション	家庭訪問実習オリエンテーション	
16	家庭訪問実習オリエンテーション	家庭訪問実習オリエンテーション	
17	健康教育1	健康教育の理念と目的、患者教育の考え方	
18	健康教育2	健康教育と保健行動、健康教育の理論	
19	健康教育3	健康教育の対象、方法、媒体	
20	健康教育4	健康教育活動の展開過程と必要要件	
21	健康教育5	健康教育の評価	
22	健康教育演習1	健康教育プログラムの作成(演習)	
23	健康教育演習2	"	
24	健康教育演習3	"	
25	健康教育演習4	健康教育の実際(地域住民に対する健康教育の実践)	
26	健康診査	健康診査の目的、対象、事業の展開方法、保健婦(師)の役割	
27	機能訓練事業	機能訓練事業の目的、対象、事業の展開方法、保健婦(師)の役割	
28	地区組織活動1	地区組織活動の考え方と意義	
29	地区組織活動2	自助グループの運営	
30	地区組織活動3	地域住民の自助・互助と専門職・自治体との連携、社会資源の活用	
テキスト、教材、参考書		メヂカルフレンド社 保健学講座2 地域看護方法論 メヂカルフレンド社 保健学講座12 健康教育論	

授 業 科 目 名	地域看護活動論	担 当 教 官	矢島まさえ
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	地区活動の基本	地区活動の考え方、目的、対象の捉え方	
2	地区活動の展開 1	地区把握、問題発見	
3	地区活動の展開 2	地区診断	
4	地区活動の展開 3	活動方針と目標の設定、活動計画の作成	
5	地区活動の展開 4	地区活動の実践、地区活動の評価	
6	地区活動計画作成演習 1	情報収集・分析	
7	地区活動計画作成演習 2	情報収集・分析	
8	地区活動計画作成演習 3	地区診断	
9	地区活動計画作成演習 4	地区診断	
10	地区活動計画作成演習 5	地区診断	
11	地区活動計画作成演習 6	活動方針と目標の設定、活動計画の作成	
12	地区活動計画作成演習 7	活動方針と目標の設定、活動計画の作成	
13	ヘルスプロモーション 1	ヘルスプロモーションの考え方	
14	ヘルスプロモーション 2	ヘルスプロモーションの活動方法	
テキスト、教材、参考書		保健学講座2 地域看護方法論 メヂカルフレンド社 公衆衛生看護学大系1 公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会 公衆衛生看護学大系別冊1 地域活動の展開方法 日本看護協会出版会	

授 業 科 目 名	在宅看護活動論	担 当 教 官	矢島まさえ
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	高齢者の在宅看護1	寝たきり老人の在宅看護	
2	” 2	痴呆性老人の在宅看護	
3	” 3	高齢者の虐待、高齢者の家族に対する支援	
4	” 4	在宅要介護老人の地域支援体制1	
5	” 5	在宅要介護老人の地域支援体制2	
6	難病患者の在宅看護1	難病の概念と動向	
7	” 2	難病患者とその家族が抱える問題	
8	” 3	難病患者の保健指導1	
9	” 4	難病患者の保健指導2	
10	” 5	難病患者の地域支援体制	
11	特殊な処置・管理を要する在宅患者の管理1	在宅酸素療法を行う患者、人工呼吸器を使用する患者の管理と地域支援体制	
12	特殊な処置・管理を要する在宅患者の管理2	CAPD を行う患者、在宅中心静脈栄養を行う患者、人工肛門、膀胱瘻を持つ患者の管理と地域支援体制	
13	在宅ターミナルケア1	在宅ターミナルケアの動向、在宅ターミナルケアを支える地域支援体制	
14	” 2	在宅ターミナルケアに関わる看護職の役割	
テキスト、教材、参考書		保健学講座5 高齢者地域看護活動論	メヂカルフレンド社
		保健学講座4 成人地域看護活動論	メヂカルフレンド社

授 業 科 目 名	地域精神保健福祉活動論	担 当 教 官	竹内一夫
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期(集中講義)
単 位	1 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	精神保健原論	健康の定義、健康と不健康、心身相関などについて概説する	
2	心の発達と精神保健(1)	発達心理学、社会心理学の基本(ライフサイクルなど)について概説する	
3	心の発達と精神保健(2)	上記の続き	
4	精神保健疾病概論(1)	精神保健活動の対象となる疾病(精神分裂病、うつ病など)について概説する	
5	精神保健疾病概論(2)	上記の続き(思春期・老年期の精神障害など)	
6	精神保健福祉概論(1)	医療福祉制度における精神保健の歴史と現状について概説する	
7	精神保健福祉概論(2)	地域保健行政における精神保健のしくみや動向について概説する	
8	精神保健援助技術(1)	働きかけの基本(1); 援助の基本的なやり方について概説する	
9	精神保健援助技術(2)	働きかけの基本(2); 上記の続き	
10	精神保健援助技術(3)	働きかけの場(1); 場所別の援助のあり方について概説する	
11	精神保健援助技術(4)	働きかけの場(2); 上記の続き	
12	地域精神保健活動(1)	地域精神保健活動における看護職の役割と活動の実際について概説する	
13	地域精神保健活動(2)	精神保健福祉活動における援助のやり方の実例について解説する	
14	地域精神保健活動(3)	上記の続き	
15	総括	以上のまとめと評価を行う	
テキスト、教材、参考書		保健学講座 6 地域精神保健活動論 メヂカルフレンド社	

授業科目名	成人・高齢者保健活動論	担当教官	矢島まさえ
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	成人・高齢者の現状と保健施策	我が国の成人・高齢者の生活と健康に関する現状、老人保健法、健康日本21、ゴールドプラン21、高齢者保健福祉計画	
2	〃	〃	
3	〃	〃	
4	成人保健指導1	成人期の発達課題	
5	成人保健指導2	生活習慣病の誘因と保健指導の進め方	
6	成人保健指導3	健康づくり対策の実際と保健師の役割	
7	成人保健指導4	長期慢性疾患患者の保健指導1 循環器疾患	
8	成人保健指導5	長期慢性疾患患者の保健指導2 呼吸器疾患	
9	成人保健指導6	長期慢性疾患患者の保健指導3 癌、肝臓・腎臓・消化器の疾患	
10	成人保健指導7	長期慢性疾患患者の保健指導4 糖尿病、肥満	
11	成人保健指導8	長期慢性疾患患者の保健指導5 貧血、筋・骨格の疾患	
12	高齢者保健指導1	高齢者の発達課題と生活の特徴	
13	高齢者保健指導2	高齢者の生きがいづくり、寝たきり予防、社会的支援体制づくり	
14	高齢者保健指導3	高齢者を対象に行われる地域保健活動の実際(高山村の例)	
15	障害者(児)保健指導1	障害者の権利と環境づくり	
16	障害者(児)保健指導2	障害者(児)と家族の保健指導	
17	障害者(児)保健指導3	障害者(児)を支援する法律・制度	
18	感染症保健指導1	急性感染症の推移、感染症予防法	
19	感染症保健指導2	感染症予防対策、感染症の予防教育、感染症発生時の保健指導	
20	感染症保健指導3	ウイルス性肝炎の保健指導、エイズの保健指導	
21	感染症保健指導4	O-157、MRSA、性感染症の保健指導	
22	感染症保健指導5	結核対策の歴史と今後の課題、結核の病態と医療	
23	感染症保健指導6	結核予防法	
24	感染症保健指導7	我が国における結核対策の概要1 健康診断、予防接種	
25	感染症保健指導8	我が国における結核対策の概要2 患者管理システム	
26	感染症保健指導9	結核患者に対する保健指導の実際	
27	感染症保健指導10	サーベイランス	
28	歯科保健指導	生涯を通じた歯科保健指導	
テキスト、教材、参考書		保健学講座4成人地域看護活動論 メヂカルフレンド社 保健学講座5高齢者地域看護活動論 メヂカルフレンド社 国民衛生の動向 厚生統計協会 衛生行政大要 日本公衆衛生協会	

授 業 科 目 名	母子保健活動論	担 当 教 官	宮崎 有紀子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	母子保健の理念と目的 母子保健活動の歩み	少子高齢化社会における母子保健の理念と目的について 戦前と戦後の母子保健活動	
2	母子保健の現状	現在の母子保健活動、母子保健の水準について	
3	母子の健康生活と保健 指導の基本(1)	若い家族の健康生活、妊娠・分娩・産褥期の生活と保健指導	
4	母子の健康生活と保健 指導の基本(2)	こどもの成長発達と生活	
5	母子の健康生活と保健 指導の基本(3)	こどもの成長発達と生活	
6	母子の健康生活と保健 指導の基本(4)	思春期の健康と生活指導	
7	母子保健指導の実際	地域の母子保健活動における保健婦の役割と保健指導の実際	
8	母子保健指導演習(1)	乳幼児期の健康診査と健診結果による保健指導	
9	母子保健指導演習(2)	家庭訪問による母子への保健指導	
10	母子保健指導演習(3)	健康相談場面における母子への保健指導	
11	母子保健指導演習(4)	健康教育場面における母子への保健指導	
12	ハイリスク母子の保健指 導(1)	未熟児の保健指導、ハイリスクな母親への援助	
13	ハイリスク母子の保健指 導(2)	障害児の保健指導	
14	ハイリスク母子の保健指 導(3)	小児慢性特定疾患児の保健指導	
テキスト、教材、参考書		保健学講座 3 母子保健活動論 メヂカルフレンド社	

授 業 科 目 名	職域保健活動論	担 当 教 官	齊藤玲子・中下富子・
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	【産業保健】 産業保健の意義と活動	産業保健の意義と組織・活動、労働衛生管理の組織と進め方 衛生教育、健康相談と保健指導、健康づくり、産業看護 産業保健の現状	
2	労働衛生法規と労働衛生 行政 健康管理の進め方	主な法令、労働安全衛生法、じん肺法、労働基準法 業務上の疾病の範囲 健康管理とそのすすめ方、職場における健康診断の概要、一般健康診断、特殊健康診断、THP 活動	
3	作業管理 作業環境管理 職業性疾病 産業保健指導論	オフィス労働の健康管理、労働時間と健康管理、中高年の健康管理、女子・年少労働者の健康管理、外国人労働者の健康管理、海外労働者の健康管理 頸肩腕障害、腰椎症、VDT 作業 作業環境管理の基本 化学的要因によるもの、物理的要因によるもの 総合的な管理と業務調整	
4	産業保健婦(師)の役割・ 業務・活動の実際	企業内における保健婦活動とその実際、健康保険組合における保健婦(師)活動とその実際、労働衛生機関における保健婦(師)活動とその実際 小規模企業等における労働衛生の現状と対策 今後の課題、産業保健婦(師)に求められる資質	
1	【学校保健】 学校保健法の概要と養護 教諭の職務	学校教育法の概要とそれに基づく養護教諭の職務について、理解できるようにする。学校保健の役割や構造、養護教諭の職務及びその推進のための職務計画を理解できるようにする。	
2	養護教諭の職務内容 保健室の管理と運営	保健室の意義と目的、保健室の管理や運営方法機能・整備・諸帳簿の整理・教材等の面から理解し、さらに保健室運営案について理解が深められるようにする。	
	学校保健安全計画	学校保健安全計画の意義、立案の手順並びに評価について理解できるようにする。	
	学校保健組織活動	学校保健委員会の目的や活動を中心に児童生徒、職員、PTA 等の保健委員会の活動等について理解を深められるようにする。	
3	健康診断	児童生徒の定期健康診断の意義と目的、その展開、事後措置、統計の作成と活用、評価について習得できるようにする。更に、臨時、就学時、及び、職員の健康診断について習得できるようにする。	
4	疾病の予防と管理 健康観察 救急看護	伝染病・食中毒・疾病における予防と管理方法について習得できるようにする。 健康観察の目的と意義を理解し、実施方法を習得できるようにする。 救急処置の意義とねらいから、救急体制並びに内科的・外科的疾患とその救急措置、心配蘇生法について習得できるようにする。	
5	学校環境衛生・学校安全 保健教育	学校環境衛生の意義と目的を理解し、その方法を実際に体験することにより、学校環境の安全管理についての意識が高められるようにする。 指導案、指導事例等を通して、保健教育の意義と内容、保健教育(保健指導・保健学習)における養護教諭の役割を理解できるようにする。	
6	健康相談・教育相談	健康相談・教育相談の意義とその進め方について、理解が深められるようにする。	
7	障害児教育 (学校参観を含む)	盲学校・聾学校・養護学校等の特殊教育諸学校における養護教諭の職務について理解が深められるようにする。	
テキスト、教材、参考書		産業看護活動論 メヂカルフレンド社、産業保健マニュアル 南山堂	

授業科目名	国際保健活動論	担当教官	矢嶋和江
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	選択	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	先進国と開発途上国	1. 世界の宗教や人種、文化 違いから派生する問題について考える 2. 政治や経済などの変化する国際情勢 政治システムや経済構造が開発に与える影響について考える 3. 開発途上国と先進国イメージ	
2 3	開発途上国の健康問題	1. 開発途上国の環境衛生 水、ゴミ、スラムなどから「人」の環境を考える 2. 貧困と健康問題 何故貧しいのか、貧困の及ぼす健康問題を考える 3. 栄養と健康問題 飢餓、栄養不良、肥満、ヨード欠乏等について考える 4. 感染症対策	
4	母子保健とジェンダー	1. 開発途上国に於ける母子保健の現状 リプロダクティブヘルスライツの視点から考える 2. 伝統的医療と民族としての慣習的医療 女性と子供の健康に関する人権問題	
5 6	保健医療分野における国際協力	1. 国際協力の歴史的経過と現状 WHO の機構とその役割 プライマリヘルスケアの理念 国際機関の役割 NGO の役割 2. 開発途上国の援助ニーズについて 3. 日本の国際協力にむけた役割	
	開発途上国に於ける保健活動の実践例	1. 青年海外協力隊の活動事例 2. 民間の医療協力の活動事例 3. 戦争と医療協力：難民キャンプにおける活動	
7	看護の国際協力に求められるもの	1. 看護職の業務と実際 2. 開発途上国で求められる看護婦(師)の資質	
	テキスト、教材、参考書	【テキスト】 国際看護学入門 医学書院 【参考書】 多文化世界 G・ホフステード著 有斐閣 異文化看護論 レインガー著 医学書院 アジアは何故貧しいのか 鶴見良行著 朝日選書 女たちがつくるアジア 松井やより著 岩波新書 いのち・開発・NGO デビッドワーナー著 新評論社 死を招く援助 ブリギッテ・エルラー著 亜紀書房 看護は文化 志摩チヨ著 メヂカルフレンド社 援助原論 中田豊一著 学陽書房 その他 【資料】 世界子供白書 世界難民白書	

授 業 科 目 名	カウンセリング	担 当 教 官	佐光恵子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	選択	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	カウンセリングとは(導入)	グループエンカウンターの導入	
2	カウンセリングの概念	「カウンセリングとは?」「カウンセリングって何?」	
3	カウンセリングの理論	精神分析理論を中心に	
4	カウンセリングの理論	自己理論・来談者中心療法を中心に	
5	カウンセリングの理論	行動主義、特性・因子理論、心理理論を中心に	
6	カウンセリングの理論	交流分析、ゲシュタルト療法を中心に	
7	カウンセリングの理論	論理療法、理論の概要まとめ	
8	カウンセリングのプロセス	カウンセリングの活用領域、動向	
9	カウンセリングの技法	カウンセリングの3段階(リレーション・アセスメント・トリートメント)	
10	カウンセリングの技法	面接の場面(初期・中期・後期)	
11	カウンセリングの技法	面接技法上の諸問題	
12	カウンセリングと看護	看護・福祉・教育に生かすカウンセリング	
13	カウンセリングと看護	ロールプレイ等、体験的理解	
14	まとめ	カウンセリングマインド、カウンセラーとクライアント、組織とカウンセリング	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		資料、プリント配布は随時	

授 業 科 目 名	運動療法論	担 当 教 官	近藤照彦
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	選択	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	オリエンテーション	教員紹介・運動療法論について・単位認定について	
2	講義	メディカルチェック	
3	講義	運動療法の基礎知識 1	
4	講義	運動療法の基礎知識 2	
5	講義	高血圧の運動療法	
6	講義	糖尿病の運動療法	
7	講義	肥満・高脂血症の運動療法	
8	実習	肥満の判定・体脂肪率の測定	
9	講義	心疾患の運動療法	
10	講義	呼吸器疾患の運動療法	
11	講義	老人の運動療法	
12	講義	小児の運動療法	
13	講義	運動療法の問題点と対策	
14	まとめ・試験	まとめ・試験	
15	予備日	予備日	
テキスト、教材、参考書		運動療法学 理学療法科学学会出版	

授 業 科 目 名	歯科保健論	担 当 教 官	浅見知市郎
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	選択	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	概説	歯科についての基本的な事柄について解説する	
2 ~ 5	地域歯科保健	歯科保健医療の基本的理念について 8020 運動について 在宅歯科診療について 保健所における歯科保健事業について	
6 ~ 8	母子歯科保健	幼児期における歯科保健の意義 幼児期のむし歯の特徴 幼児期におけるむし歯の予防 幼児期における歯科保健指導	
9 ~ 11	学校歯科保健	総説 歯の健康づくりの理論と実際 歯の保健指導の実際 歯の保健指導における組織活動	
12 ~ 15	成人・老人歯科保健	成人歯科保健事業 かかりつけ歯科医機能支援事業 在宅要介護者歯科保健推進事業 8020 運動推進特別事業	
テキスト、教材、参考書		プリントを配付する。	

授業科目名	英語	担当教官	河原崎やす子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
	「海外旅行で使える英会話修得」	<p>外国へ行くことが日本国内を旅行する事とさほど変わらない程身近な物となっている今日、英語の役割は大きい。勿論、英語の通用しない国もあるが、数多くの国で英語の使用によって旅行や商用がスムーズに行くのが現実である。ところが、日本人の英語会話能力は相変わらず非常に低い。書いた物を読むよりもはるかに低い所にある。これは残念なことである。この授業では、何とかしてこの「話す」能力に集中し、英語で会話してみたいという気になる位、自分の物にすることを旨とする。英会話に必要なのは、正確なアクセントとイントネーションを身につける事と、暗記して口から出すことを繰り返す事である。ここでは是非英会話を修得して、外国へ行って実践に役立てて欲しいものである。</p>	
テキスト、教材、参考書		旅行でしゃべる英会話 マイケル・ブラウン 南雲堂	

授業科目名	英語	担当教官	澤田只夫
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	選択	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	生きたアメリカ英語とは / 日本の医学・医療における英語教育	<p>「医学・医療の国際化の扉を開く」その第一歩はナースから始まると思います。アメリカの今日の医療看護の事情を交えながら、アメリカ英語の実践を学びます。「ナースのための心を伝える英会話」の中～上級編です。病院の外来や病棟で、外国人の患者さんを多く目にする今日、積極的に心の届くケアを、そして、また海外で活躍しようとひそかに心に闘志を燃やしているナースに役立つ講座です。</p>	
2	文法は中3レベルで完璧 / 外来患者さんとの対応		
3	”		
4	入院時の Orientation		
5	”		
6	検査・画像診断の際に		
7	”		
8	手術治療・手術室では		
9	”		
10	作文する / 看護記録をアメリカ英語で書く		
11	”		
12	医師・検査技術・Case worker と討議		
13	”		
14	英語での看護研究発表 / 21世紀に医学・医療を支える看護		
テキスト、教材、参考書		「ナースのためのアメリカ英語」、その他	

授業科目名	疫学	担当教官	宮崎有紀子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	疫学の定義 1	疫学の定義	
2	疫学の定義 2	健康とその成り立ち	
3	健康指標 1	健康現象の測定方法	
4	健康指標 2	指標化の方法	
5	健康指標 3	死亡率に関する指標、年齢調整死亡率	
6	健康指標 4	生命表、出生率に関する指標、人口の再生産率	
7	健康の水準	人口、死亡、平均寿命、出生の動向	
8	疫学的方法 1	記述疫学	
~			
11			
12	疫学的方法 2	分析疫学	
~			
16			
17	疫学的方法 3	検査の妥当性と信頼性	
18	健康管理の基礎 1	健康管理の意義、正常と異常の考え方	
19	健康管理の基礎 2	スクリーニング検査	
20	健康管理の基礎 3	健康管理の範囲	
21	健康管理の基礎 4	健康づくりについて	
22	環境と健康 1	環境と健康のかかわり	
23	環境と健康 2	環境と健康のかかわり	
24	環境と健康 3	生活環境と健康	
25	環境と健康 4	生活環境と健康	
26	感染症と予防 1	感染症サーベイランス	
	感染症と予防 2	感染症の予防対策	
	感染症と予防 3	感染症の動向、食中毒の発生状況	
テキスト、教材、参考書		看護学基礎講座 保健学-疫学保健統計 真興交易医書出版部 国民衛生の動向 厚生統計協会	

授 業 科 目 名	保健統計	担 当 教 官	宮崎有紀子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	保健活動と統計	看護、保健活動の中で統計を活用する意義について	
2	データの性質 1	質的データと量的データ	
3	データの性質 2	尺度水準	
4	母集団と標本 1	母集団と標本の概念	
5	母集団と標本 2	疫学的調査方法	
6	代表値と散布度	代表値、散布度について	
7	相関と関連 1	量的データ間の関係	
8	相関と関連 2	量的データと質的データの関係	
9	相関と関連 3	質的データ間の関連	
10	分布	確立分布と標本分布の基礎	
11	検定と推定 1	検定と推定の考え方	
12	検定と推定 2	平均値に関する検定と推定	
13	検定と推定 3	クロス表の検定	
14	検定と推定 4	相関係数の検定	
15	検定と推定 5	ノンパラメトリック検定表	
16	演習 1	基本統計量の計算	
17	演習 1	基本統計量の計算	
18	演習 2	相関係数、カイ 2 乗検定	
19	演習 2	相関係数、カイ 2 乗検定	
20	演習 3	アンケートの処理	
21	演習 3	アンケートの処理	
22	演習 4	年齢調整死亡率の計算	
23	演習 4	年齢調整死亡率の計算	
24	演習 5	簡単な台帳管理	
25	演習 5	簡単な台帳管理	
26	レポート作成	レポート作成	
テキスト、教材、参考書		看護学基礎講座 保健学-疫学保健統計 真興交易医書出版部	

授 業 科 目 名	保健福祉行政論	担 当 教 官	大野絢子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	2 単位	必修	教室名 2 階専攻科教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	公衆衛生行政の概要 1	公衆衛生行政の理念と目標、公衆衛生行政の発展	
2	公衆衛生行政の概要 2	公衆衛生行政制度と財政	
3	公衆衛生行政の概要 3	公衆衛生行政機構と機能	
4	公衆衛生行政の概要 4	衛生行政の職員、健康危機管理体制、公衆衛生行政と情報化	
5	地域保健の体系	地域保健の体系、地域保健法、地方公共団体行政の課題	
6	医療	医療提供体制、医療の財政、医療費の動向と問題点	
7	薬事	薬事行政の概要、医薬品・医療用具の安全対策、血液事業、薬事監視、麻薬・覚醒剤等の対策	
8	生活衛生・環境保全	家庭用品の安全、建築物衛生、環境行政の概要、環境保全対策	
9	保健医療福祉計画 1	地方公共団体の基本構想と保健医療計画、老人保健福祉計画、母子保健福祉計画、障害者プラン	
10	保健医療福祉計画 2	保健医療福祉計画の評価と推進管理、費用・効果、医療費の分析	
11	保健福祉行政総論	保健福祉行政の原則と実際 保健福祉行政の展開を通して保健福祉行政の概要を教授する	
12	社会福祉と社会保障制度	社会保障、社会福祉の体系と発展過程	
13	社会福祉と社会保障制度	所得保障、医療保障	
14	社会福祉と社会保障制度	生活保護制度	
15	社会福祉と社会保障制度	児童福祉、障害者(児)の社会福祉、高齢者の社会福祉	
テキスト、教材、参考書		公衆衛生看護学体系 11 保健福祉行政論 日本看護協会出版会 衛生行政大要 日本公衆衛生協会 これからの地域保健 中央法規 健康政策六法 中央法規	

授業科目名	地域看護学研究	担当教官	梅林奎子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
1	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・研究時間 60 時間の概要をガイダンスする ・各自の研究の分野についての希望を調査する ・研究テーマの決定から論文提出までは既習学習であるが、確認する ・研究計画書作成について <p style="text-align: center;">*地域看護活動においては、地区診断や地域の健康問題を特定するための調査を実施し統計的解析が求められると同時に必要となる。したがって、社会調査法の概要を理解し、地域看護に適用かつ応用できるように社会調査について概説する</p>	
2 ~ 7	社会調査とは 調査方法 データの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査、調査研究とは ・地域看護への適用 ・調査研究の方法(統計的調査と事例研究法) ・調査票と質問紙 ・調査項目と質問 ・調査票の構成(質問紙の作成) ・調査の方法(自記式・他記式) (集合調査・留め置き・面接等) ・測定尺度 ・データのまとめかた ・データの分析(疫学・保健統計の知識を適用) 	
8 ~ 30	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成し実施する(5~6グループ) ・成果を発表する 	
テキスト、教材、参考書		なし	

授 業 科 目 名	地域看護学実習	担 当 教 官	宮崎有紀子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	3 単位	必修	
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>1.目的 保健所・市町村における地域看護活動の内容と展開方法を学ぶ。また、保健所・市町村保健婦(師)の活動と地域看護の役割を理解する。</p> <p>2.方法と内容</p> <p>1)集中実習 実習場所:保健所・市町村(保健センター) 実習期間:9月末～10月の2週間 実習内容:実習施設における地域保健活動の実際と、そこに勤務する保健婦(師)の活動をとおして、地域看護活動の展開方法と保健婦(師)の役割を学ぶ。</p> <p>2)家庭訪問実習 実習場所:高山村 実習機関:6～7月、11月～12月 実習内容:受け持ちの事例への家庭訪問による継続的援助により、個別援助の展開方法と、個別援助をとおして地域の健康問題を把握する視点を学ぶ。</p>	
	テキスト、教材、参考書		

授 業 科 目 名	地域看護学実習	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	必修	
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>1. 目的 在宅ケアに関わる援助技術、及び、在宅療養者を支える地域ケアシステムとそれに関わる保健婦(師)の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 実習場所: 在宅介護支援センター、市町村保健センター 実習期間: 9月末～10月の1週間</p> <p>3. 実習内容 在宅ケアに関わる関係機関の機能、保健婦(師)及び関係職種の活動の実際をとおして、在宅療養者を支える地域ケアシステムとそれに関わる保健婦の役割を学ぶ。</p>	
	テキスト、教材、参考書		

授業科目名	国際保健活動論実習	担当教官	矢嶋和江
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	選択	教室名 2階専攻科教室
回	講義題目	内 容	
		<p>1.目的</p> <p>1)開発途上国の保健医療の実際を体験することで国際協力における保健医療の課題を学ぶ</p> <p>2)異文化間コミュニケーションを通して、互いの文化理解の重要性を学ぶ</p> <p>2.方法</p> <p>アジアの保健医療協力を実施している NGO の活動に研修生として参加する</p> <p>1)カンボジア・バングラディッシュ 母子保健プロジェクト活動 保健ボランティアの養成、農村乳幼児・妊産婦の健康管理 母親への保健教育、エイズ予防教育</p> <p>2)タイ 国際看護研修参加 AIHD 主催「タイ国の保健と社会発展」</p> <p>1)or2)のいずれかに参加</p> <p>3.実習の進め方</p> <p>1)事前学習 各国の文化、歴史、生活習慣を理解する 各国の簡単な日常会話の学習 各国の看護教育を含めた教育システムの理解 保健衛生の基本的データから保健医療水準や医療システムを知る その他</p> <p>1.実習日程(予定) 7月末に日本を出発 10日間の研修予定である</p> <p>2.実習終了・評価 研修報告書及び自己評価表提出</p> <p>国際保健活動論選択の学生は、パスポートを取得しておくこと。</p>	
テキスト、教材、参考書			